

## ガバナーご挨拶

国際ロータリー第2530地区  
2026-27年度ガバナー 金田 昇 (白河西 RC)



2026-27年度RI会長ババラ会長は「持続可能なインパクトを生み出そう (Create Lasting Impact)」と呼びかけました。そして、強調事項は「ポリオ根絶、平和の推進、会員増強とクラブ活性化、インパクトをもたらす奉仕活動」と強調しました。これらのメッセージを受け、第2530地区では活動方針を次のように提唱します。

### 「連携と連帯で、持続可能なインパクトを生み出そう」

クラブ同士の連帯感を深め、地区とクラブの連携を強め、ロータリアン一人ひとりの友情を紡いでいくことで居心地が良く有益なロータリー活動を推進し地域の信頼と評価を高め、さらには一人ひとりの成長につなげていく活動を展開します。

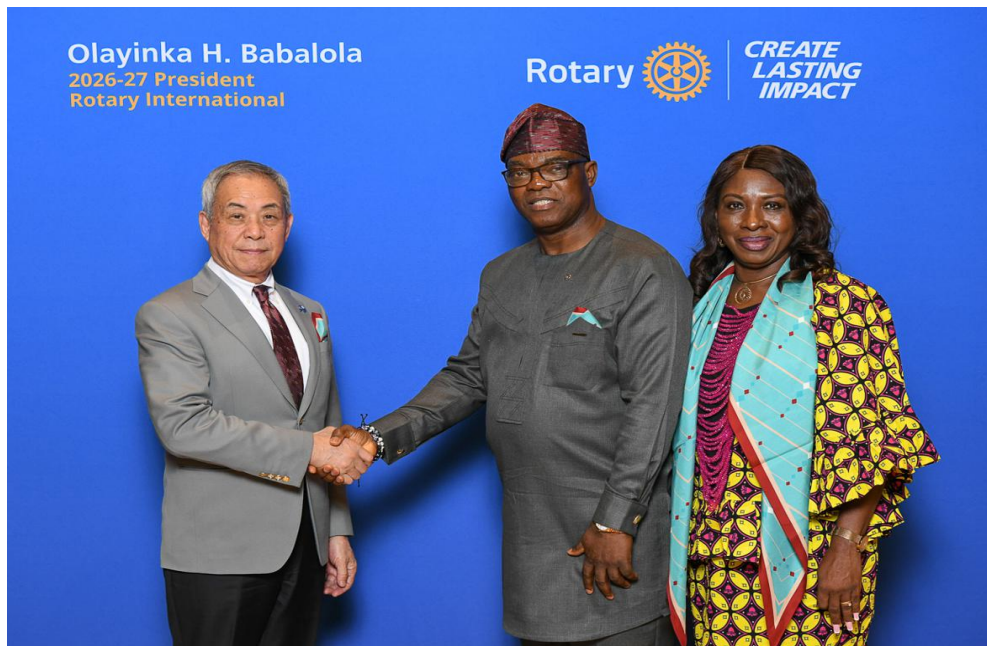
- ① **地区の活動**：「**連携と連帯**」とし委員会同士の共通目標を共有して効果的な一体感のある活動を行います。そのためには委員会同士のコミュニケーション頻度をあげることが必要です。また持続性のある次年度次々年度へとつながるような事業展開を目指します。
- ② **クラブの活動**：近接地域内での「**近接地域内でのクラブ間での連帯**を」とし様々な共通プロジェクトを企画して各クラブの課題解決にも協力できる仕組みづくりを目指します。またさまざまな奉仕活動は**地域のニーズに合った事業**を地域とともに進めるよう支援します。
- ③ **会員増強**：単に数にこだわるのではなく帰属意識が醸成されるように入会者を迎え入れ、充実感を得られるロータリーライフを提供し「**入会者の意識の変革をクラブの成長につなげられる**」ようクラブと地区が協働で活動します。

**結びに**：一方で開かれた広がりある継続的で持続可能な活動を進めると同時に「**ロータリーのブランド力の向上**」も目指します。地域社会の方々から信頼と尊敬と憧れを持っていただけるようロータリーのブランド力をさらに高めていきます。

地区ロータリアン各位のご支援とご指導、忌憚のないご助言を切にお願いいたします。  
一年間、ご支援よろしくお願いいたします。

\*\*\*\*\*プロフィール\*\*\*\*\*

■氏名 金田 昇 (かねだ のぼる)  
■生年月日 1952年(昭和27年)9月20日  
■所属クラブ 白河西ロータリークラブ  
■職業分類 倉庫業  
■事業所名 株式会社 昇栄  
〒961-0856 福島県白河市新白河一丁目 108-2  
■役職 代表取締役  
■最終学歴 東洋大学経済学部経済学科 卒業  
■現職 白河商工会議所 議員  
会津若松商工会議所 議員  
■ロータリー歴 1996年6月1日 白河西ロータリークラブ入会  
2000-01年度 白河西ロータリークラブ幹事  
2010-11年度 白河西ロータリークラブ会長  
2020-21年度 地区ロータリー財団委員会 委員  
2021-22年度 県南分区ガバナー補佐  
2023-24年度 地区会員増強委員会 委員  
2024-25年度 第2530地区ガバナーノミニー  
2025-26年度 第2530地区ガバナーエレクト  
  
メジャードナー レベル1  
ポール・ハリス・ソサエティ  
ポリオ・プラス・ソサエティ  
第5回米山功労者(マルチプル)



## 2026－27年度 地区運営方針

### ◎ガバナー方針

国際ロータリー会長オンラインカ・ハキーム・ババロラ氏のメッセージを受け、第 2530 地区 2026-27 年度の地区運営のキーワードを「**連携と連帯で持続可能なインパクトを生み出そう**」とします。

「**連携**」とは、互いの持てる能力を補い合い、手を携えることです。

「**連帯**」とは、共通の志のもとに強い絆で結ばれることです。

この二つが組み合わせられたとき、私たちのロータリーはより強固なものとなり、実践する奉仕活動は単なる「結果」にとどまらず、地域社会に根付く大きな「力」となって、持続可能なインパクトを生み出すことができます。

### 3つのポイント

#### ①「持続可能なインパクト」を意識する

一時的なイベントで終わるのではなく、その活動が 3 年後、5 年後の地域にどのような恩恵をもたらすかという視点を持ち、プロジェクトを実行してください。

#### ②「クラブや地区の枠を超えた連携」を実践する

地区内の他クラブや地区委員会と対話し、リソースを出し合うことで、ロータリーのスケールメリットを最大化してください。

#### ③「クラブ間の連帯」を実践する

クラブ規模の大小にかかわらず、成熟した会員、若い世代、女性会員など多様なメンバーがクラブの枠を超えて交流し結束することで、各クラブはより強靱で魅力的な存在となります。「居心地の良さ」と「帰属意識の向上」の両立を図ってください。

### ◎重点施策

#### 1. 会員基盤の維持強化

##### ①会員増強の地区目標

(ア)会員数 2,200 名、女性会員 220 名(10% 以上 )

(イ)退会防止のための施策を計画・実施

(ウ)会員増強に関する情報交換の仕組みづくり

##### ②地区各委員会との連携

(ア)会員増強セミナー等の積極的活用

(イ)新会員向けオリエンテーションの実施

##### ③RLI 委員会との連携による人材育成の加速と強化

会員資質の向上および地区およびクラブのリーダー育成のために RLI 委員会の活性化とセミナーへの参加促進を図る。

#### 2. 社会・国際奉仕活動の活性化

①受益者のニーズに即した奉仕活動の実施

②各種セミナー受講による情報収集とスキル向上

③補助金の積極的活用

#### 3. クラブ奉仕によるクラブ活性化

①親睦活動やクラブ機能の充実による活性化

②会員増強目標の設定と実行による基盤強化

#### 4. 公共イメージ向上活動

①YouTube や SNS を活用した情報発信の促進

②公共イメージ向上のための施策

(ア)公共イメージ向上セミナーの実施

(イ)マスコミや他団体との情報交換

(ウ)地区全体での情報発信の統一化

#### 5. 青少年奉仕活動

①インターアクト:スポンサークラブとの連携強化による協働活動の推進

②RYLA:ローターアクトとの連携による事業の活性化と参加者募集の推進

③青少年交換:継続的な派遣事業の展開と拡大(目標 2~4 名)

#### 6. ローターアクト及び学友委員会活動

①ローターアクト委員会:アクトクラブ活動の支援と会員拡大への助言と協力

②学友委員会:広範な学友の情報収集と組織化の推進

## 7. ロータリー財団の理解促進と活用

### ①財団の使命の理解促進と活動参加

(ア)世界ポリオデーへの全クラブ参加(参加ゼロクラブゼロ)

### ②補助金プログラム

(ア)地区補助金:各クラブの独自性と地域ニーズを重視

(イ)グローバル補助金:複数クラブ・複数国による連携事業の推進

### ③寄付推進

(ア)年次基金 150ドル/人

(イ)ポリオプラス 30ドル/人

(ウ)PHS(ポール・ハリス・ソサエティ)100名

(エ)PPS(ポリオプラス・ソサエティ)150名

(オ)寄付ゼロクラブゼロ

(カ)ロータリーカード加入促進

## 8. 米山記念奨学会

①奨学生とクラブの関係強化による理解と寄付の向上

②普通寄付 5,000円/人 特別寄付 10,000円/人

③寄付ゼロクラブゼロ

## 9. My ROTARY の積極活用

登録率 100%を目指し、クラブへの情報発信を強化

### ①ラーニングセンターの活用

(ア)クラブ役職者のスキル向上

(イ)新会員オリエンテーションへの活用

### ②クラブセントラルの活用

(ア)会長エレクトによる目標設定・入力

(イ)進捗管理によるクラブ運営の可視化

### ③ロータリー賞への挑戦

(ア)必要事項を適切に入力し、認定取得を目指す

2530 地区内 58 クラブは一つのチームです。

ロータリーの未来に向けたインパクトを創出していきましょう。

仲間とともにロータリーを愉しもう。Let's enjoy Rotary together with our fellows.